

ソフィアだより

3月

足ぶみ 金子みすゞ

わらびみたよな雲が出て、
空には春が来ましたよ。
ひとりで青空みていたら、
ひとりで足ぶみしましたよ。
ひとりで足ぶみしていたら、
ひとりで笑えて来ましたよ。
ひとりで笑ってして居たら、
誰かが笑って来ましたよ。
からたち垣根が芽をふいて、
小径にも春が来ましたよ。



ソフィアを巣立ち、誇らしげに小学校へ行くことを話すこどもたち。5歳児クラスのこどもたちがまぶしく見える春3月。乳幼児という呼び方から、児童の時期へ歩むこどもたち。なにもかもを大人に預けてくれていた赤ちゃんの頃、自分の意志を持ちはじめたイヤイヤの頃、できた一と、自信たっぷりで振り返った姿、大きな涙を流しつつつけた顔、満面の笑顔、いろんなこどもたちの顔やしぐさが浮かびます。

暑い夏も、冷たい風が吹くときも、毎日園へ送迎してくださり、保護者の方々とこどもたちと共に歩めてきたことに感謝いたします。一つずつこどもたちは大きくなり、乳幼児期のこどもたちの時間の濃さに驚くばかりです。こどもたちは、楽しい遊びを経験できたかなあ？美しいものを見て聴いて共有できたかなあ？たくさんスキンシップをとってあげられたかなあ？あなたはあなたのままでとても大事な人なのだということを伝えてあげられたかなあ？毎日の何気ない日常の経験の中でこどもたちに「生きる力」の種を膨らませてあげられたかなあ？と顧みます。

「そうやん！みんなで手をつないだら、平和になるやんなあ」何気に話してくれた5歳児との会話の中で、こどもたちの目に見えない言葉の力や創造力や自分で考える力の種は確実に芽が出ているのだと、実感します。子どもたちの元気で力強い足踏みが園内から聞こえます。

春の足音を感じます。今年度もソフィア園にご理解ご協力いただき、心から感謝いたします。

ありがとうございました。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実